

第26回全国学生技術コンテスト

Interview

学校外の大会に参加したのは初めてでしたが、とても良い経験になりました。悔しい結果にはなりませんが、これを糧にこれからも頑張ります。

一緒に練習をする仲間がいたので、お互いを高め合いながら練習に取り組むことが出来ました。

初めての大会に出場し、思うような結果が出せませんでしたが、練習した日々や大会当日の緊張感などとても良い経験になりました。

学生生活において思い出になるものでした。練習するたびに課題が出てきて、その分少しずつ形になることが嬉しかったです。

写真左から 中西晴香さん 松下貴一さん 遠藤音菰さん
(専門学校エビスビューティカレッジ)

写真左から 横山陸人さん 高橋光輝さん 風間心粋さん 後藤舞衣さん
(クレアモード専門学校)

審査講評

クレアヘアモード専門学校
大会審査委員 関 秀和

選手の皆さん、お疲れさまでした。限られた時間の中で、実力を100%発揮することは難しいものですがよく頑張ったと思います。今日のコンテストに向けて練習してきた過程と本番での経験を糧に、明日からのステージで、それぞれが多くの経験を積み重ね、成長されることを願っています。以下に、審査後の感想を部門別にまとめましたので、参考にしてください。

- **ワインディング1年生の部** 丁寧に巻かれている作品が多くレベルも高かったのですが、サイドやバックサイドのシンメトリーでズレがあったり、残り毛が目立つ作品もありました。左右の完全対称と残り毛ゼロを目指して、基本の強化に努めてください。
- **ワインディング2年生の部** 全体的なバランスが良く、きれいな作品が多かったと思います。手直しがしっかりされていて、レベルの高さを感じました。特に、巻かれた面のクオリティは高かったと思います。しかし、1本1本のクオリティに偏り、センターの歪みや全体の傾き、シンメトリーなどのわずかなズレに完成度の差が出ていたと思います。
- **ワインディングデザイン巻の部** 全体的なレベルが高く、どの作品もバランスは良かったのですが、シンメトリーや面などで差が出てしまいました。ロッドの配列やサイドの乱れなど細部に気を配ってください。
- **デザインカットの部** 質感のメリハリがはっきりしていて完成度の高い作品もありましたが、カットラインの精度がもう少しという作品もありました。複雑にカットラインが入り組んだ作品や質感のコントラストが出ている作品などは感心しました。次回は、新しい発想のデザインも期待します。毛先の処理やバランス感覚を磨いてください。
- **アップスタイルの部** バランスや質感表現の良い作品が多くありましたが、カールの動きや毛束1つ1つにもっとこだわりがあっても良かったと思います。細部の処理に気を配れるとより良い作品となるでしょう。
- **ヘアデッサンの部** 濃淡の表現、全体のバランスやパーツの質を上げることで、より完成度が高まると思います。作品から髪の動きや豊かな表情と共に、光や風などの流れも感じられると素晴らしいと思います。

令和5年度 学連スケジュール

- 4月下旬 全国理容美容学校連盟賞案内
加盟校における校内コンテスト優秀者に授与
- 6月下旬 定時社員総会
- 10月27日 第27回全国学生技術コンテスト(予定)
場所：としま区民センター
- 11月中旬 秋の全国模擬試験(11月8日予定)
- 2月上旬 冬の全国模擬試験(2月7日予定)
- 2月中旬 学連たより no.17 発行
- 3月卒業時 学生表彰
加盟校推薦の成績優秀者及び学内コンテスト等の優秀者に学連理事長賞授与



■髪に関して分からないことがありましたら、ご連絡下さい。
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-16-16 チェアカテリーナ501
TEL 03-5362-5561 FAX03-5362-5560 <http://www.jhsa.jp> info@jhsa.jp
公益社団法人 日本毛髪科学協会

学連たより no.16 2023年2月発行

発行：一般社団法人 全国理容美容学校連盟 〒171-0044 東京都豊島区千早1-28-9 1階 Tel.03-5926-8971 FAX.03-5926-8970
URL : <http://gakuren.or.jp/> e-mail : info@gakuren.or.jp

一般社団法人 全国理容美容学校連盟

GT
学連たより

no. 16
2023.2



ごあいさつ

人工知能が発達しても代替のきかない仕事のひとつとして理美容業があげられています。皆さんは理美容師を目指し研鑽に励まれていることと思います。

そして、この全国学生技術コンテストは全国的なレベルアップを目指して、27年前加盟校の学生を対象に始められました。競技はワインディング部門から始め、令和元年(2019年)には8部門まで部門数を増やしましたが、コロナ禍等の問題があり、今回は6部門での開催となりました。新型コロナウイルス感染症が社会的に大きな問題となり、殆どの活動が自粛となった1年を除き、毎年開催されてきました。学生の技能と意識のレベルアップを願う思いは、今日まで、加盟校のコインテスト委員に受け継がれ、美容教育向上のためにご尽力いただいております。

今回は、長期に渡りご協力いただいておりますジャーナル社に加え、文部科学省の取材がありました。文部科学省では令和3年3月より専修学校の広報企画として「専修学校#知る専」をスタートしました。その中で「第26回全国学生技術コンテスト」の様子が写真・動画等を使って紹介されています。加盟校の皆様には是非ともご覧いただき、来年度のコンテスト参加のご検討をお願いいたします。当連盟は、今後とも理容美容学校教育の向上のための活動を続けてまいります。



全国理容美容学校連盟
理事長 佐々木健雄

第26回全国学生技術コンテスト報告

理容美容教育の向上と理容美容学校の学生の技術向上を目的として毎年行われている「全国学生技術コンテスト」は、文部科学大臣杯を戴き、全国でも高いレベルのコンテストとして定評があります。また、加盟校の教員がコンテスト委員会を運営するなど、自立性の高いユニークな運営方法でも知られる数少ないコンテストです。

今年度は、2022年10月27日(木)に前回と同じ東京都豊島区の「としま区民センター」に於いて、26回目の全国学生技術コンテストが開催されました。その様子をここにご報告申し上げます。

各賞発表と表彰

■文部科学大臣賞

					
ワインディング 1年生の部 中西 愛莉 京都理容美容専修学校	ワインディング 2年生の部 小畑 琴 京都理容美容専修学校	ワインディング デザイン巻の部 大江 楓 京都理容美容専修学校	デザインカットの部 赤松 由菜 資生堂美容技術専門学校	アップスタイルの部 千秋 樹李 京都理容美容専修学校	ヘアデッサンの部 大西 紗楓 京都理容美容専修学校
					

受賞のことば

中西 愛莉さん 出場が決まり、練習期間が3週間未満という本当に短い期間で、文部科学大臣賞を頂いたことをとてもうれしく思います。この賞はご指導して下さった先生方や先輩方、一緒に毎日練習してきた仲間、背中を押してくれた家族のおかげで頂くことができました。決して一人では手にすることができない賞なので、本当に感謝しています。

本番は、会場が東京ということもあり、緊張と期待が半々で会場に入りました。そこで一緒に頑張る人たちを見ると、緊張で押しつぶされそうになりましたが、応援して下さった先生方、先輩方、友達のおかげで楽しんで競技することができました。この経験は必ず今後役立つと思います。これを活かし、さらに上を目指していこうと思います。

小畑 琴さん 約一年半、オールパーパスをしてきて、今回の全国学生技術コンテストで文部科学大臣賞を頂いた事をとても嬉しく思います。

毎日、朝早くから夜遅くまで練習し、思うように巻けず、苦しんだ時もありましたが、ご指導して下さった先生方や一緒に練習してきた仲間と支え合いながら、乗り越えることができました。また、練習してきた時間や量は更に私を強くしてくれました。この経験は必ず今後役立つと思います。ここから更に努力を重ねて頑張っていきます。

大江 楓さん 文部科学大臣賞を頂けて、とても嬉しく思います。長期にわたりワインディングに励んできました。毎日毎日巻いてははずしての繰り返しで、思うように巻けなかったり、悩んだことも多くありましたが、競技が違ってもみんなと励まし合ったり、一緒に練習することで、今回良い結果を残すことが出来て本当に良かったです。

ご指導くださった先生方、一緒に練習してきた仲間、応援してくれた家族・友達に感謝をしています。まだまだ改善点もあります。これに満足せず、更に上を目指そうと思います。

赤松 由菜さん 初めてのコンテストで、まずどのようなカラーにするか、次にデザインはどうするか、アイデアを出すところからとても大変でした。カラーはグラデーションにするために、塗布量を調節するのが難しかったです。当日は時間を一杯使い、カットラインを綺麗にすることを意識しました。

制限時間の中で完成させるための時間配分など、コンテストならではの良い経験ができました。

今後は、カットラインがさらに強調されたデザインの作品を作れるように、カットの技術を上げたいと思います。また、さらにレベルアップできるように、試行錯誤しながらたくさんの作品を作りたいと思います。

千秋 樹李さん 文部科学大臣賞をいただき、大変嬉しく思っております。初めは「マリエ」というテーマに合ったスタイルを完成させるのに随分悩みました。全体のバランスだったり、近くで見るときの可愛いカール感など、毎日毎日試行錯誤し、今回のデザインに辿り着きました。又、練習していく中で、夜会がきれいに作ることが出来ず、苦戦することばかりでした。その度に親身になって教えて下さった先生方、側で支えてくれた家族への感謝と共に、これまでの練習で学んだ経験を活かしての本番だったと思います。この経験は無駄になることはなく、今後、必ず役に立つと信じて更なる努力を重ねて頑張っていきます。

大西 紗楓さん 今回、文部科学大臣賞をいただくことが出来てとても嬉しく思います。毎日の忙しさに追われる中、一ヶ月という短期間で絵の参考にする写真選びとその写真を見ずに描く練習がとても大変でした。時間を割いて指導して下さった先生方をはじめ、支え、応援してくれた友人たちには感謝してもしきれません。

支えて下さった方々のお陰で、日々練習に励み、結果を出すことが出来ました。

■学連理事長賞

							
ワインディング1年生の部 庄子 乃杏 北海道美容専門学校		ワインディング2年生の部 五屋 美咲 京都理容美容専修学校		ワインディングデザイン巻の部 堤 葵生 資生堂美容技術専門学校		デザインカットの部 田代 さら 資生堂美容技術専門学校	

■全専各連会長賞

- ワインディング1年生の部 川上 凜 北海道美容専門学校
- ワインディング2年生の部 堀井 玲那 北海道美容専門学校
- ワインディングデザイン巻の部 石田 桃子 京都理容美容専修学校
- デザインカットの部 東崎 青可 資生堂美容技術専門学校
- ヘアデッサンの部 藤崎 紅 資生堂美容技術専門学校

			
アップスタイルの部 坂田 百々佳 専門学校富山ビューティーカレッジ		ヘアデッサンの部 山本 愛 京都理容美容専修学校	

■優秀賞

- ワインディング1年生の部 長谷川 一花 北海道美容専門学校 / 藤田 柚 北海道美容専門学校
- ワインディング2年生の部 本前 花菜 北海道美容専門学校
- ワインディングデザイン巻の部 小林 朋美 北海道美容専門学校 / 京塚 璃胡 専門学校富山ビューティーカレッジ / 藤田 小波 北海道美容専門学校 / 篠谷 悠衣 資生堂美容技術専門学校 / 中里 綾乃 グルノーブル美容専門学校 / 八山 莉奈 グルノーブル美容専門学校

■ジャーナル賞

- ワインディング1年生の部 髪の文化舎賞 中西 愛莉 京都理容美容専修学校
- ワインディング2年生の部 ザ・ビューレック社賞 小畑 琴 京都理容美容専修学校
- ワインディングデザイン巻の部 新美容出版社賞 大江 楓 京都理容美容専修学校
- デザインカットの部 専門学校新聞社賞 東崎 青可 資生堂美容技術専門学校
- アップスタイルの部 百日草賞 千秋 樹李 京都理容美容専修学校
- ヘアデッサンの部 女性モード社賞 大西 紗楓 京都理容美容専修学校

■ネイルアートミュージアム入賞者

- 優秀作品賞 山口 瑠衣 資生堂美容技術専門学校
- 奨励賞 江戸 千夏 専門学校エビスビューティカレッジ
- 大江 楓 京都理容美容専修学校
- 小谷 茉葉 京都理容美容専修学校
- 高橋 萌々葉 専門学校エビスビューティカレッジ
- 副島 千聖 京都理容美容専修学校

コンテスト総評

皆様お疲れ様でした。第26回全国学生技術コンテストが無事終了いたしました。

コロナ禍での全国学生技術コンテスト開催は2年目になります。できるだけ参加し易い方法を検討し、前回同様、リモートと「としま区民センター」での実施といたしました。

準備中に見られた選手たちの笑顔は、競技が始まると真剣な顔つきに変わり、制限時間内に最高の結果を出そうという熱気が強く伝わってきて、審査委員も気持ちが引き締まる思いでした。競技終了後は、納得のいく仕上がりで安堵する人、緊張の余り思うような作品ができずに落ち込む人、もう一歩が及ばずに悔しそうな表情の人と様々でしたが、全員が精一杯取り組みました。練習では完璧に出来たのに、本番ではミスが出ることもあれば、練習で一度も成功しなかったのに、本番では素晴らしい出来栄となることもあります。どんな結果であっても貴重な経験となったはず。一回り成長した皆さんの頑張りを大変嬉しく思います。コンテスト開催にあたり、ご協力賜りました関係者の皆様・運営に携わった皆様・参加された皆様に心よりお礼申し上げます。



名誉大会委員長
杉本泰子